



# 岐阜に生きる 岐阜と生きる

受講料  
無料

令和8年度公開講座

岐阜の文化や産業、自然、そして暮らしに息づく多様な知を学ぶ公開講座「岐阜に生きる岐阜と生きる」を開催します。

異文化コミュニケーションや視機能の健康、繊維問屋街の歴史、人生会議、アートなど、生活に寄り添うテーマを、専門家がやさしく紐解きます。

参加は無料！岐阜を知り、未来を考えるきっかけとして、ぜひご参加ください。

時間：14:00～15:30（13:40～受付開始）

会場：岐阜商工会議所 4-A 会議室

申込方法：ホームページの申込フォーム

【右記のQRコードからも申込できます】

※お申し込みは先着順とし、定員（50名）になり次第締め切ります



3/19(木)  
申込受付開始

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜事務局

TEL：058-293-3483

受付時間：9:00～17:00（土日祝日除く）

<https://www.gifu-uc.jp>

詳しい内容は裏面





## その一言、どう受け取る？ - 日常の「評価」の違いから考える異文化コミュニケーション -

講師：中日本自動車短期大学 自動車工学科・留学生別科 講師 立見 洗貴

岐阜県では外国人生活者が年々増加しており、本学でも多くの留学生が学んでいます。日々の暮らしの中で外国人と関わることも、もはや特別なことではありません。本講座では、身近な生活場面を題材として、私たちが無意識に行っている「評価」とコミュニケーションの関係について、体験的に考えます。参加型ワークショップを通して、多文化共生を支える視点や対話のヒントを共有し、異文化理解を特別な問題ではなく、人と人の中で捉え直すことを目指します。

6/25(木)



## 視力だけでは分からない「見え方」のしくみ ～年代別に学ぶ視機能と目の健康～

講師：平成医療短期大学 視機能療法専攻 教授 野原 尚美

視力が良ければ安心と思いませんか。見え方は視力だけでなく、視機能の発達や生活習慣、加齢により変化します。本講演では、幼児期の視機能発達と弱視、学童期の近視、働き盛り世代の眼精疲労、中年期の老眼、高齢期の眼疾患を取り上げ、年代別に起こりやすい目の問題を解説します。さらに、眼科検査の役割や予防のポイント、地域の相談体制を紹介し、生涯にわたる目の健康管理への理解を深めます。

7/30(木)



## 岐阜駅前繊維問屋街と加工屋さんの暮らし

講師：岐阜工業高等専門学校 建築学科 助教 和田 蒔

第二次世界大戦後、岐阜には既製服の製造・卸売業が隆盛し、岐阜駅前では「日本一」の既製服の問屋街ができました。そうした既製服産業を支えたのは、加工屋と呼ばれる縫製の内職を担う主婦たちでした。彼女たちがどのような暮らしをしていたのか、当時のことを知っている方の証言や加工屋さんの暮らしを描いた小説からたどります。

9/17(木)



## 自分らしく生きるために、今できること - 想いを伝える力と人生会議 -

講師：岐阜県立看護大学 看護学部機能看護学領域 准教授 古澤 幸江

本講座では、これからの人生を自分らしく安心して過ごすために大切なことについて考えます。日頃なかなか言葉にできない「自分の想い」を見つめ直し、相手を大切にしながら気持ちを伝えるコツをご紹介します。さらに、もしものときに備える「人生会議 (ACP)」の基本についてもわかりやすく解説し、家族と話し合うことの意味をお伝えします。今をよりよく生きるための手がかりを探ります。

10/29(木)



## 岐阜をめぐるアート ～1枚の絵が開く場所～

講師：情報科学芸術大学院大学 教授 前林 明次

この講座では、岐阜県美術館で出会った一枚の絵を手がかりに、岐阜と沖縄、明治と現代を結ぶ見えないつながりをたどります。山本芳翠《琉球漁夫釣之図》(1887-1888頃)から着想した自作《場所をつくる旅》(2017)を紹介しながら、絵の中の風景を実際に訪ね、そこで集めた音を重ねることであられる新たな「場所」についてお話しします。

11/26(木)

メールにてお申し込みの場合は、タイトルに【「岐阜に生きる」の申込み】と記入し、下記の情報をお送りください。

### 岐阜商工会議所

岐阜市神田町 2-2

※公共交通機関でお越しいただくか、会場近隣の有料駐車場をご利用ください



### 記載項目！

- 氏名 (フリガナ)
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス
- 年齢・性別
- 受講希望回
- その他講座情報の案内 (希望する・希望しない)

メールの送信先: [guc@t.gifu-u.ac.jp](mailto:guc@t.gifu-u.ac.jp)

